

委員長 法橋尚宏（神戸大学大学院保健学研究科）

委員 河原宣子（京都橘大学看護学部看護学科）

小林京子（神戸大学大学院保健学研究科）

森山美知子（広島大学大学院保健学研究科）2007.06 まで

近藤麻理（岡山大学医学部保健学科地域看護学）2007.06 まで

1. The 10th International Family Nursing Conference の誘致

- 1) The 10th International Family Nursing Conference 誘致国として立候補（書面を重要人物に事前にメールで配布）した。
- 2) 2007 年 6 月 6 日，開催地の決定会議に参加し（プレゼン資料の提示，趣旨説明），日本が The 10th International Family Nursing Conference の開催国（2011 年開催）に決定された。

2. The 8th International Family Nursing Conference への会員の参加支援とツアー実施

- 1) 参加準備（会員の参加登録および演題発表の技術支援）を行った。
- 2) 参加とタイ家族看護研修ツアーの実施（42 名）が参加した。

3. The 8th International Family Nursing Conference における国際交流とその報告

- 1) 各国研究者との交流・情報収集した。20 カ国が参加，口演数 115 演題（うち日本人 5），示説数 112 演題（うち日本人 49）であった。バンケットで杉下知子前理事長への黙祷の時間があつた。
- 2) The 8th International Family Nursing Conference への参加，タイ家族看護研修ツアーの『家族看護学研究』への紹介記事（森山先生が執筆）を掲載した（Vol.13, No.3）。

4. 英語版の学会リーフレットの配布

- 1) The 8th International Family Nursing Conference の参加者全員に配布した。
- 2) 英語版リーフレットを 2,000 部追加印刷（国際交流委員会の封筒を 1,000 部印刷）し，各国の家族看護学に関連した 325 施設に発送した。

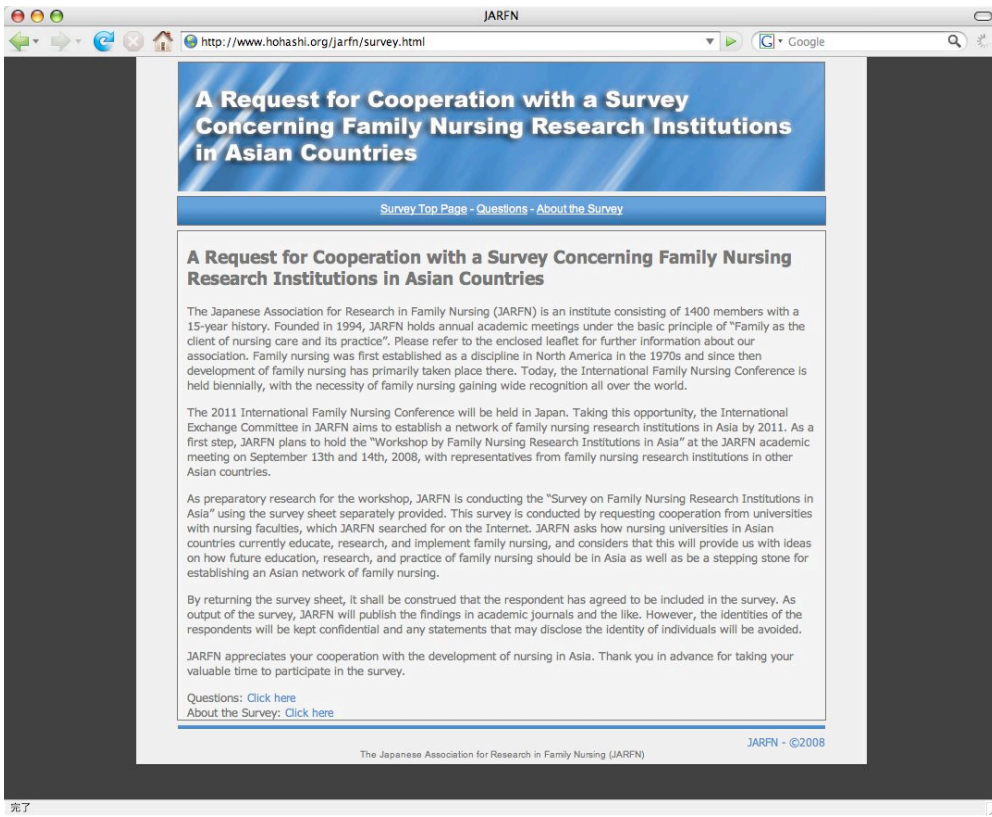
5. 国際的ネットワークの構築に向けての準備

- 1) アジア圏における家族看護学の実態調査を実施（325 施設に郵送）した。回答はファックスもしくは Web で受け付けている（別紙 1）。回答の集計・分析・報告は平成 20 年度の活動とする。
発送先：韓国 49，中国 153，香港 3，台湾 2，タイ 9，シンガポール 1，マレーシア 9，フィリピン 83，インドネシア 16
- 2) 平成 20 年度にジョイント・ワークショップ（日本家族看護学会第 15 回学術集会の 2 日目のテーマセッションとして考えている）の実施を目指し，アジア圏（香港）の研究者の招聘を計画中である（実態調査の結果も合わせて検討する）。

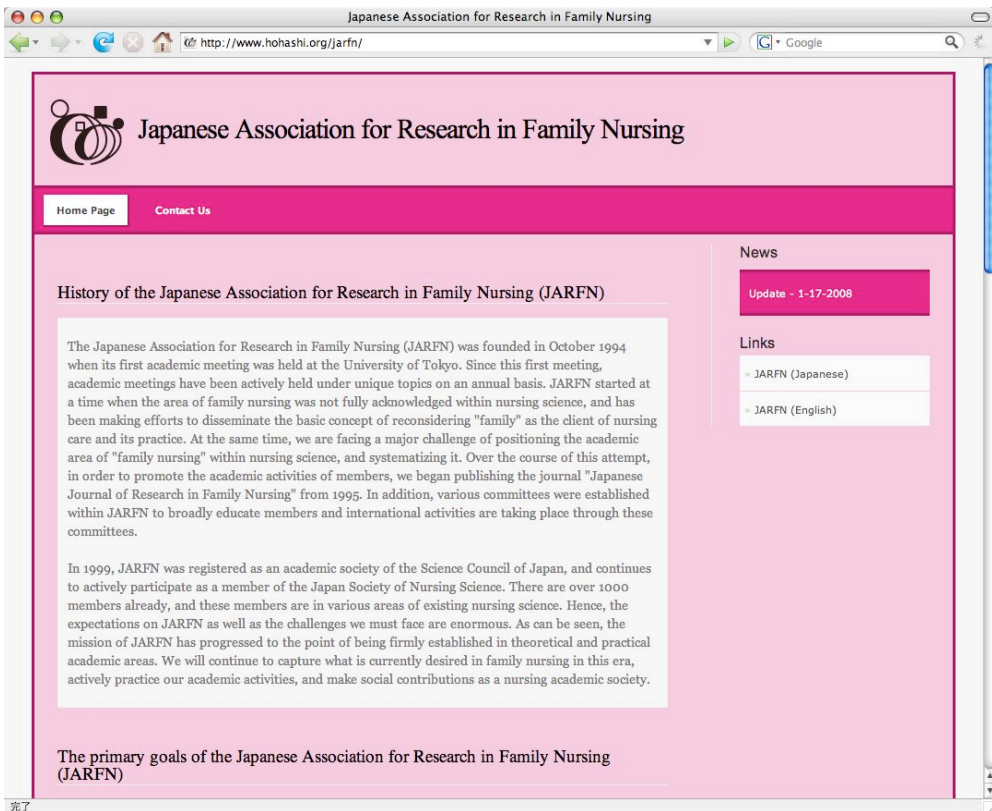
6. Web による学会情報の発信

- 1) 日本家族看護学会の情報（英語版リーフレットの内容）の Web ページを作成した（別紙 2）。

(別紙 1) 質問紙調査の Web ページ



(別紙 2) 英語版リーフレットの Web



(以上)